

職員による自己評価

A 環境面

- ・駅から近いので、一人で登下校する児童には、便利な立地である。
- ・児童が横になれるほどのスペースはあり、療育・学習のスペースに分けることが出来る。
- ・4階までの移動手段が階段しかないため、小さいお子様と一緒にのご家族は大変である。

B 児童への支援内容

- ・児童のその日の様子と行った支援について記録し、次の課題や対応策を考えている。
- ・日誌に記載することで、全ての職員で共有できるようにしている。

C 関係機関との連携

- ・外部から支援者会議があれば、参加している。
- ・区が実施の支援部会へ参加している。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・活動報告の他、HP や Google マイビジネスを使い報告している。
- ・契約時に、教室運営についても説明している。

E 非常対応

- ・保護者には契約時、職員には研修を通して身体拘束などの説明をしている。
- ・避難訓練は春に実施予定。

保護者による評価

A 環境面

- ・室内は大丈夫です。(入口まで階段4階が少し大変です。子どもから見ると、運動になるかもしれない。)
- ・職員配置数なども適切と評価される保護者が多い。

B 児童への支援内容

- ・児童、保護者のニーズや課題を計画に盛り込むことが出来ている。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流などについては不必要を選択される保護者が多い。

C 事業所からの情報発信

- ・普段同じような悩みを持っている保護者と話す機会がないので、保護者会などあれば悩みなど話したいと思う。
- ・入ったばかりのためわからない。

D 非常対応

- ・子どもが経験したことがないため、わかりません。
- ・緊急時マニュアルなどの周知・説明については、「はい」との答えが多いが、災害発生時に向けた定期的な訓練については「どちらともいえない」を評価する保護者が複数。

事業所内での分析

【共通点】

- ・教室内環境には問題ないが、4階までの移動手段が階段であることが大変であるご家庭もある。
- ・児童への学習・療育支援については、活動記録だけではなく、ご家族と面談時や送迎、メール、LINEなどで共有することが出来ている。

【相違点】

- ・避難訓練等についてはまだ実施していないこともあり、災害時発生への対応が「どちらともいえない」を評価された方が複数となる。
- ・父母の会については、「不必要」と評価された方が多い。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・駅から近いこともあり、一人での登下校に挑戦しやすく、ご家族の送迎もしやすい環境である。
- ・学習する場、遊ぶ場、工作する場と場所を区切り活動することが出来ている。
- ・活動記録以外にも、送迎時やメール、LINEを使用することで、ご家族や児童との意思疎通を図りやすくなっている。

事業所の改善点

- ・避難訓練や災害時時のマニュアル周知については、春休みに実施していく。
- ・プログラムが多少固定化されている部分がある。
- ・事業所での活動内容の周知、発信が伝わっていない部分もある。

事業所の改善への取り組み

- ・避難訓練については、春休み期間を通して実施。初の訓練となるため、その時の児童の様子等を活動記録に記載していく。また、改善点等あれば、次回の避難訓練に生かす。
- ・プログラムの固定化については、学習であればプリントだけではなくマグネット教材の使用、療育であれば季節の工作を盛り込むなどしているため、今後も継続していく。
- ・事業所の活動については、引き続きHPで伝えるとともに、春、夏、冬の予定表の用紙を渡す際に、最近の事業所活動についても、記載していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

初めての自己評価でしたが、ご家庭から多くのアンケートの回答、意見を頂けたこと大変嬉しく思います。児童の多くが楽しく登校されていることを知り、職員一同大変嬉しく思います。しかし、開所してから1年未満のため、災害訓練が出来ていなかったことや教室内の活動報告など、まだ至らない点が多々あります。

意志疎通の伝達配慮が出来ていると評価を頂けたことを踏まえ、教室の環境や保護者のニーズなど、改善・検討していかなければならないことに一つひとつ取り組んでいき、今後も安心して通うことが出来る教室をつくれるように、努めて参りたいと思います。

事業所名 オレンジスクール あざみ野教室

担当者 管理者 富田 志織

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：
保護者数（児童数）：20人（21人） 回収数：14 割合：70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4	2	・室内は大丈夫です。（入口まで階段4階が少し大変です。子どもはから見ると、運動になるかもしれない）	・室内は比較的フラットな環境のため、引き続き教室整備を行う。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	14	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	12	2	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	7		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができてきているか	12	2	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	9	・普段同じような悩みを持っている保護者と話す機会がないので、保護者会などあれば悩みなど話したいなと思う。 ・入ったばかりのためわからない。	・父母会や保護者会に関しては、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「不必要」が多数をしめたため、今回は見送るも、事業所事業所としてどのようにアプローチが出来るかを検討していく
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	3	0		
	⑫	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2	0		
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	1	0		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3	0		
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0		
	⑰	事業所の支援に満足しているか	14	0	0		
	⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	4	0	・子どもが経験したことがないため、わからないです。	・避難訓練に関しては、年2回実施予定。今後、避難訓練を実施期間で、多くの子どもが参加できるように、日程調整を行う。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール あざみ野教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	0	・法令を遵守している ・学習と療育のスペースを分けるなどの工夫をしている。	・今後も限られたスペースを活用していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	1	0	・法令を遵守している。	・今後も継続していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	0	・室内は問題ないが、4階でエレベーターがないため、小さなお子様と一緒にの際は、職員がベビーカーを持つなどの対応をしている。	・外環境については、大きな改善が出来ないため、職員が出来る範囲のサポートを継続していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	0	・個別支援計画や児童にあった教材準備など職員間で話し合うことが出来ている。	・今後も継続していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	1	0		・今回が初実施のため、今回のアンケートをもとに業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	1	0		・初実施のため、今回分からHPに公開。今後も一年ごとに実施する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	1	・第三者による外部評価はおこなっていない。	・現在は事業所・ご家族の二者評価となっている。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	0	・外部研修や内部研修に参加することが出来ている。	・今後も継続していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	0	・ご家族や児童との何気ない会話や日々の児童の様子、またご家族からの共有をもとに、個別支援計画の作成につなげている	・今後も継続していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	1	0	・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用している。	・今後も継続していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	0	・季節の工作、プリント教材、お買い物ごっこ、マグネット教材など多様なプログラムを提供できるように、意見を出し合い実施している。	・今後も児童の状況に合わせて立案していく。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	3	0	0	・外部施設を利用することで、おもちゃを定期的に入れ替える、季節の工作をするなど工夫している。	・今後も継続していくとともに、教室の状況に応じて変更していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	3	0	・平日と長期休暇で利用時間がそれほど変わらないため、課題や内容もあまり変わらないが、個別支援計画を通じて目標を決め支援をしている。	・今後も継続していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	0	・学習と療育を時間ごとに決めることで、集団や個別活動が出来る時間を設けている。	・今後も継続していく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0	・日誌を活用することで、1日のスケジュールや役割分担を決めることが出来ている。職員人数を充実させ、より効果的な方法を思案中。	・色々な職員に聞き取りを行い、より良い方法を模索していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	0	・職員間で気になることは共有し、日誌に記録として共有できるように工夫している。	・今後も継続していく

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	0	・児童のその日の様子で行った支援について記録し、次回の課題や対応策を考えることは出来ている。	・今後も継続していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	0	・半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の作成につなげている。	・今後も継続していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1	2	0	・自立支援、創作活動、余暇支援の提供など行うことが出来ている。	・今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	1	0	・サービス提供担当者会議への参加はないが、外部から支援者会議への参加をしている。	・基本的には児童発達支援管理責任者が参画するが、必要に応じて児童指導員も参画していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	0	3	0	・学校とのやりとりはないが、HPで行事や授業進捗の確認、ご家族からもLINEやメールで教えて頂いている。	・必要に応じて、学校と直接の連絡・連携を検討していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	1	・利用時にご家族を通して医療機関や主治医について、緊急時の対応方法の確認をしている。	・今後も継続していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	1	・同じ事業所間では出来ているが、違う事業所とは行えていない。その分、ご家族から情報を頂き共有している。	・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	1	・現時点で、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいない	・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	1	・外部研修に参加することが出来ている。	・今後も継続していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	3	・交流については、現在行っていない。	・必要に応じて活動の実施を検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	1	・区で開催されている専門部会などへ参加している。	・今後も継続していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	0	・メールやLINE等で児童の様子を共有している。 ・送迎時や記録、面談時で教室での様子や学校・家庭での様子を共有し、個支計画に含めている。	・今後も継続していく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	2	・現在、実施していない	・今後、実施をしていくかは検討していく。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	0	・契約時に要所ごとの不明点も尋ねるなどの対応をしている。	・今後も継続していく。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	0	・送迎時や面談時に実施出来ている。 ・相談に基づき学習や療育支援に取り組んでいるが、児童に合うものを見つけるには時間がかかる時もある。	・今後も継続していくとともに、相談に対して必要な助言と支援が出来るよスキルアップをしていく。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	2	・現在、実施していない。	・現在、実施していないが、ご家族の意見を踏まえ実施に向け検討・調整していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	・児童の要望に応じ、教室内のルールを変更したり、ご家族からの苦情内容を受け止めて、会社内・関係機関に報連相を行うなどの対応が出来ている。	・今後も、ご家族と児童の意見を聞き、社内で迅速に対応し、改善に向け取り組む。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	2	0	・会報は発行していないが、活動内容をブログ等で発信している。 また、長期休みのお知らせなどは紙でも周知している。	・今後もブログ等で定期的に報告していく。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	2	1	0	・研修の実施や書類等は鍵付きの棚で保管し、PCデータの整理を行い気を付けている。	・今後も管理を徹底していく。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0	・お迎えに来ているご家族にその日の状況を一言添えている。 ・児童の言いたいことを色々な選択肢を出すことで、一緒に見つけて出している。	・今後も継続していく。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	3	・現在、実施していない。	・実施するかについては、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	0	・玄関先に掲示されているため、よく児童が手に取り読むことが多く、保護者様もマニュアルがあることを確認することが出来ている。	・今後も継続していく。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	1	1	・現在、実施していない。	・春休み期間で実施予定。
	㉚	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	0	・全職員に研修することが出来ている。	・今後も継続していく。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	0	・契約時に、具体例を出して説明することで、同意書をいただいている。	・やむを得ず身体拘束を行った場合には、保護者様に説明を行い、記録に記載することになっている。 ・身体拘束が発生しないように、支援をすることを心掛ける。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	2	・ご家族から契約時にアレルギーの有無を聞き、対応している。	・今後も継続していく。
㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	0	・日誌で日々のヒヤリハットを記録し共有している。	・今後も継続していく。	

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。